

## 2年次選択科目 日光医療センター呼吸器内科研修プログラム

### 1. 研修施設

獨協医科大学日光医療センター

### 2. 研修期間

原則として1か月～

### 3. 指導体制

指導責任者： 原 澤 寛 教授

主任指導医： 原 澤 寛、戸 田 正 夫

### 4. 募集人数

1期あたり原則として3名

### 5. 研修目標

基本的医療技術を指導のもと実施する。

呼吸器疾患に対する病態生理、診断、治療を総合的に理解し修得する。

### 6. 基本的診断・検査法

a. 一般目標：呼吸器領域の基本的検査法の適応と結果を理解し修得する。

b. 到達目標：・正確な聴診法と胸壁などの触診を体得する。

- ・血液・生化学検査一般、細菌検査、腫瘍マーカー、細胞診、病理学的検査、動脈血ガス分析等の検査の進め方を学び結果を解釈する。
- ・呼吸機能検査、スパイログラムを理解し、判読する。
- ・心・胸部エコー法（体表面、経食道）による解剖学的機能的診断を理解する。
- ・胸部単純X線、胸部CT（単純、造影）、胸部MRI検査の読影する。
- ・気管支内視鏡検査（擦過細胞診、肺生検、気管支肺胞洗浄）を理解する。
- ・肺血管造影検査、心臓カテーテル検査（右心）の結果を理解する。

### 7. 基本的治療法

a. 一般目標：呼吸器領域の基本的治療法を理解し修得する。

b. 到達目標：生活指導、食事指導法を修得する。

- ・呼吸器領域の薬物療法（緊急薬剤の適応と使用法、抗菌剤、中心静脈栄養法、全身管理、化学療法）を修得する。

- ・吸入療法、酸素療法、人工呼吸器管理（気管内挿管）を修得する。
- ・胸腔ドレナージを修得する。
- ・在宅酸素療法を理解する。
- ・放射線療法を修得する。
- ・緩和治療を修得する。
- ・呼吸器疾患の救急に対する知識と適切で迅速な判断、処置（救命蘇生術）を行うことができる。

## 8. 経験が望まれる症状・疾患

- ・経験が望まれる症状  
咳，痰，血痰，喀痰，喀血，呼吸困難，喘鳴，胸痛，嘔声，ショック、チアノーゼ，ばち指，努力呼吸，奇異呼吸、浮腫、四肢冷感・痛み
- ・経験が望まれる疾患  
肺腫瘍、胸膜、縦隔、横隔膜疾患、気胸、胸膜炎、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、横隔膜ヘルニア、肺血栓塞栓症、肺性心、肺高血圧症、呼吸器感染症、閉塞性肺疾患、肺気腫、慢性気管支炎、びまん性汎細気管支炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺嚢胞症、特発性間質性肺炎、睡眠時無呼吸症候群、過換気症候群

## 10. 研修内容

- 1) 外 来 指導医の補助医として外来診療に参加し、幅広い症例を経験しながら急性期および慢性期の基本的な診察・診断法などを修得する。
- 2) 病 棟 指導医の下で入院患者の受け持ちとして診療にあたる。また指導医の指示により当直を行い、緊急時、急変時に対応した経験をする。
- 3) 医局カンファレンス、抄読会、回診等に参加する。

## 11. 研修医評価

研修終了時に、指導医により研修到達目標について評価を行う。

## 12. 診療・研修の特徴

- 1) マン・ツー・マンの指導体制。
- 2) 呼吸器領域を総合的にとらえ診断～治療の流れを体得できる。
- 3) 呼吸器疾患の救急医療に対応できるよう研修できる。
- 4) 肺循環、肺腫瘍 等の専門的な最新の医療体制。
- 5) 悪性腫瘍等の緩和ケアの活動をおこない研修できる。
- 6) 血管造影装置2機、64列マルチスライスCT